



## ジャガー・ルクルトの極めて希少性の高い2点のタイムピースオークション

### メゾンが受け継ぐ豊かな遺産と時計製造の深淵なノウハウを証明

非常に珍しい「ポラリス・メモデイト」を2019年11月のフィリップス ジュネーブに、  
世界で唯一の「ラッキー13」を2019年12月のフィリップス ニューヨークに出品

発明の精神を原動力としながら突き進んできた歴史の中、ジャガー・ルクルトは、その卓越したノウハウにより400件を超える特許を取得し、時計職人の熟練の技と創造性豊かな想像力で1200点以上のキャリアを形にしてきました。

20世紀中頃に製造されたこの2点の希少なタイムピースが実証しているように、10年ごとにその時代の精神を反映させながら、斬新なアイデアと再解釈がもたらされてきたのです。この2点の腕時計が製造された1950年代から60年代に起こった多くの変化の中、技術が大幅に進歩し、航空宇宙産業が劇的に発展した一方、水中ダイビングは、困難なものへの追求から幅広い層で楽しめるレジャーへと変貌を遂げました。

### 非常に珍しい「ポラリス・メモデイト」（1967年製）を 2019年11月のフィリップス ジュネーブに出品

1950年、ジャガー・ルクルトはアラーム機能を搭載した初の腕時計を発表し、これを「メモ

ボックス」（「ボイス・オブ・メモリー」）と名付けました。このモデルが市場で最も人気のある、信頼性の高いモデルとなっていくことから、ジャガー・ルクルトは、日付表示機能を備えたもの、自動巻タイプ、パーキングメーターを計時するよう設計されたアラーム機能を持つものまで、様々なバリエーションを投入していきました。

1959年、ジャガー・ルクルトは、ダイビングが専門家の仕事から一般の人が楽しむレクリエーションへと進化を遂げ始めていると気づき、メモボックスを海中でも使えるようにする



ことを決断します。ジャガー・ルクルトは、ダイバーの安全性を最大限に確保するためには、視覚的なタイマー（インナーベゼル上）と聴覚的なアラーム（ケースを振動させる）の両方を提供すべきだと認識していました。

その実現するため、ジャガー・ルクルトは、水中でアラーム音の伝達が最適化するように多層のケースバックを開発し、特許を取得しました。密閉されたインナーケースによってムーブメントを保護する一方、16 個の穴が付いたアウターケースがアラーム音を聞こえるようにしただけでなく、その振動により手首でもアラーム音を感じられるようにしたのです。

米国では「ポラリス」、ヨーロッパでは「ダイバーズウォッチ E859」として知られたリファレンス番号 E859 は、それぞれにスーパーコンプレッサーウォッチならではのクロスハッチ模様が入った 3 つのリューズを特徴としています。1 つ目のリューズは時刻を設定するためのもの、2 つ目は潜水時間の計時のためにインナーベゼルの回転させるためのもの、3 つ目は矢印をアラーム時刻に合わせるためにセンターディスクを回転させるものです。

今回フィリップスのオークションに出品される腕時計は、1967 年にアメリカ市場向けに製造されたもので、極めて珍しいダイヤル表示により、他のモデルとは一線を画しています。それは、メモボックスのモデルはほとんどのダイヤルに「Memovox」（メモボックス）のスタンプが施されていたり、ルクルトの名前以外の刻印は入っていなかったりするのですが、この腕時計だけは「Memodate」（メモデイト）とスタンプが入っているからです。

ポラリス・メモデイトの最も魅力的な点はおそらく、精巧な聴覚複雑機構の伝統と実用的なスポーツウォッチの必要性という時計製造において明らかに相反する 2 つの側面が組み合わされている点です。その点で、ポラリス・メモデイトは、ジャガー・ルクルトで受け継がれてきた豊かな遺産を生み出し、今に至るまでメゾンを突き動かし続けているオープンマインドな発明の精神をまさに象徴するものとなっています。

ポラリス「メモデイト」Ref. E 859: 1967 年製のアラームと日付表示機能が付いた極めて希少性が高い、魅力的なステンレススティール製のダイバーズウォッチ。



世界で唯一のルクルト「ラッキー13」（1962年製）を  
2019年12月にフィリップス ニューヨークに出品

米国人宇宙飛行士としての初の地球軌道周回飛行という偉業を祝い、シカゴ反迷信協会が、13名の米国上院議員とともに、この米国初の7人の宇宙飛行士（マーキュリー・セブン）のひとりに贈ったルクルト「ラッキー13」はまさに1点物の傑作です。

全てのインデックスに13の数字が施されたこの腕時計は、NASAのマーキュリー計画でグレンが搭乗したマーキュリー・アトラス6号（コールサイン：フレンドシップ7）を記念したものです。フレンドシップ7は、マクドネル・エアクラフト社が製造した13機目の宇宙カプセルで、ダイヤルの13は、13を不吉な数字とみなすことをシカゴ反迷信協会が否定していることを示しています。

1962年4月13日の金曜日に開催された式典は、1962年10月13日に米国議会議事録に記録されました。出品者はこの腕時計の落札金額の一部をオハイオ州立大学にあるジョン・グレン・カレッジ・オブ・パブリック・アフェアーズに寄付する予定です。

ルクルト、「ラッキー13」：独創的かつ歴史的にも重要であり、非常に珍しいセンターセコンドの時刻表示のみと“ラッキー13”のダイヤルを特徴とするゴールド仕様の腕時計。  
出品者がジョン・H・グレン・ジュニア上院議員のエステートセールで直接購入。

ジャガー・ルクルトの卓越した技術ノウハウを示しているだけでなく、この唯一無二のタイムピースのストーリーの裏には深い意味や人間同士の絆が込められており、腕時計というものが常に社会的、感情的な意義を持ち、時としてそれが実用的な目的よりも重要視されることさえあるのだということを思い起こさせます。



---

### **Jaeger-LeCoultre: HOME OF FINE WATCHMAKING SINCE 1833**

ジャガー・ルクルトは、メゾンの本拠地をジュウ渓谷の静寂な地に置いていることが、ホームとして、その場所への独特の帰属意識を高めています。まさにこの地こそ、ジュラ山脈の比類なき景色に着想を得ながら、果てることのない「内なる炎」に導かれ、グランド・メゾンの精神が生まれる場所なのです。すべての作業がひとつ屋根の下で行われているこのマニュファクチュールでは、時計職人、エンジニア、デザイナー、芸術職人が一丸となって働き、時計に息吹を吹き込みます。揺るぎないエネルギーと、メゾンに属する一人ひとりのコミットメントを日々促している創造の精神が原動力となり、控えめな洗練さと技術的な創造性を培っています。この精神が、1833年以來、1,200以上のキャリアを生み出すパワーの源であり続け、そして、ジャガー・ルクルトをウォッチメーカーの中のウォッチメーカーへと導いているのです。

---